

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年12月8日

公表: 令和5年4月14日

事業所名 多機能型事業所ミルキーウェイ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	事業所が広くなり、必要に応じてパーティションをして区切り、集中できるように行っています。	区切り方など状況に応じて変更するなど改善を図っていきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	急なお休みはフォローし合っています。	定員に対して配置は満たしているが、看護職員がもつという不安という意見もあり、採用に力をいれたいです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	パーティションを活用して区切っています。	ベッドの高さが調整出来ないものを使っていて腰を痛める職員がいましたが、ベッドを購入して解決しました。 簡易的な洗面台も導入し、手洗いがしやすくなりました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	話し合う時間が合わない事があり、その際はノートに記載してご利用児さんの支援が共有できるようにしています。	課題がでると、各部署でミーティングをしています。今後より課題について話し合いや共有が出来るよう検討会議等の機会を増やしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	保護者等の意向を把握し、業務改善につなげていると思います。	保護者様からの評価を拝見し、今後の支援などに繋げていき、日頃からコミュニケーションを大事にしていきたいと思っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	保護者等の会話より情報を収集し、意向を把握し業務改善につなげていくように努力しています。	保護者様からの評価を拝見し、今後の支援などに繋げていき、日頃からコミュニケーションを大事にしていきたいと思っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	第三者評価制度は取り入れられていません。	今後、導入を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	前年度に比べて研修会が実施され、事業所内での研修会や外部の研修会の案内をしていただき参加しております。	研修はあるがそれを実践されておらず、どのように浸透させて良いのか方法も分からないという意見がありました。今後、どのように現場で実践していくか皆で考えて検討したいと思っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	個別支援計画作成にあたり、ご家族のニーズに基づきスタッフで意見を出し合っています。	アセスメントが不十分であるという意見もあり、様々な視点からアセスメントをする機会を作ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3	標準化したアセスメントは使用していません。事業所で使用している状況をまとめ、場面の前後の情報を整理、情報共有しながら行っています。	知能検査・発達検査の結果がある利用児さんについては、持参いただいで写しをいただくなど参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	事業所スタッフ全体でみんなが楽しんで誰もが出来る活動内容を考えて出し合っています。	今は個別で立案しているので、活動プログラムについてのミーティングはほとんどないです。活動プログラムも個々で立案しているので、偏ったものになっているような気がします。偏らないように意見を述べる場を作りたいです。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	事業所スタッフ一人が最低1つ活動内容を立案する為、色々な専門スタッフからの意見もあり固定化していないと思われまます。	職員1人1人の案をつくり、同じ案に対しては、中身の工夫をして頂くようにしています。前回出した案が絶対ないとはいえないですが、子ども達が楽しく活動できていれば、繰り返し行う活動があってもいいのではないかと思います。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	短時間でできるもの、長期休暇中、1日利用の時間に合わせた課題を準備するようにしています。重心は、体調の面も考慮しながら決めています。	場当たりの対応になっている部分もあるのでフィードバックをし、振り返りを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	ご利用児の状態に応じて、個別の課題や集団活動を合わせて行っています。	重心は、ケア面が多いので、集団活動に参加できる時間が短かったり、無かったりしています。個別活動をメインで行っています。出来るだけ集団活動に参加出来るように取り組んでいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	朝礼や、朝礼ノートによって確認できています。	支援に入るスタッフ全員でのミーティングはできていませんが、役割分担を掲示して周知できるように行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	1	実施が難しいため、朝礼ノートやLINE等で伝えています。	スタッフの勤務時間の都合上行う事が難しいので、何かあれば、ノートやLINEにて情報共有を図っています。LINEがプライベートと分けるのが難しいため、今後違うアプリを使用することも検討しています。連絡帳は記入しますが、支援に関しては記録が取れてないことがあるので、先日記録を残そうと他の職員さんと話したばかりです。時々しか来ないパート職員が見ても分かるような記録を残せたら話し合いです。ケアリストという、支援に関して注意すべきことを記載する記録を徐々に作って行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	支援の記録では、支援の検証や改善には繋がってはいません。何か問題行動があった際は状況をまとめてノートやLINEにて周知できるように行っています。	会議をする時間がなかなか確保できない面もありますが、携わっているスタッフから意見や状況をしっかりと確認する機会を作る必要があると考えています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	定期的にモニタリングを行い、支援に携わっているスタッフから意見や状況を確認し、ご家族からの要望も踏まえて計画の見直しを行っています。	ガイドラインを再度確認し、現在の状況も踏まえて支援を行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	担当者と管理者が参加しています。	サービス担当者会議は可能な限り管理者、担当者が参加しています。参加できない場合は、支援に入っているスタッフから意見をいただき、事業所での様子や状況を書類にまとめて担当者会議でお話しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	送迎時に学校の先生とその日の様子などはお聞きしています。先生とお話できない事があり、何か気になる事があった際は、ご家族にお聞きするようにしています。	時々送迎時間の見落としがあるようで、ダブルチェックの仕方を見直さなければいけないと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	0	必要事項、確認事項がある時は、主治医に連絡をとらせてもらっております。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	保護者の視点とご利用の各関係機関の視点は違いがあるのでできるようにしています。保護者に了承得た上で情報を得るように進めております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	障害福祉サービス等へ移行されるご利用者さんがいない為、実施できていません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	行動に課題のあるご利用児さんを事業所に直接見に来ていただき、助言をいただきました。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	コロナ禍の為、交流はできていません。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5	オンラインでの参加など工夫して参加しています。		

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	連絡帳やLINEを使って事業所での様子をお伝えし、コミュニケーションを図っています。送迎時にその日の様子をお伝えしています。	現時点で共通理解ができているかどうかはわかりませんが、支援会議を通して意見を共有することで共通理解できるように努めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4	ご家族から相談があった際は、話し合いながら、助言を行っています。また将来、身体の成長等、ご家族に予めお早めにお伝えし、ご家族がお子さんを支援できるようお伝えしました。	保護者様に対しては、直接的には出ていないが、ご利用の関係機関(相談支援専門員、他事業所)と連絡を取り合い情報共有しています。今後、ペアレント・トレーニングの研修を受講し、対応していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	きちんと説明を行った上で契約を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	ご家族から相談があった際は、ご家族と支援に入っているスタッフ間で意見を出し、話し合いながら行っています。	適切な助言が出来ない事もありますが、悩みなど、保護者の訴えは、否定なく聞く様にしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	コロナ禍で今は出来ておりません。ご希望があるのは、理解しております。	Zoom等使い、保護者会を行うことを検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	行事予定は、毎月ご家族へお伝えしています。長期休暇の外出企画は、事前にご家族へお伝えし、お便りを配布して、ご理解のもと実施しています。	
	35	個人情報に十分注意している	10	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	伝わりやすい形で、お伝えし理解いただけるようになっています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	職員には周知できていますが、保護者まで周知できていない部分もあります。	今後、保護者会等でお伝えし周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	一年に2回防災訓練を実施しております。	地域防災委員会の活動を活発に行なっていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	定期的に行なっております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	0	止むを得ない場合につきましては、手続きに基づいて実施しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	アレルギーの有無をわかりやすく掲示しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	朝礼で報告、情報共有しています。	